

第 64 巻の広告掲載会社名および商品名

アステラス製薬 (株)		興和創薬 (株)	グラナテック
中外製薬 (株)	アクテムラ	田辺三菱製薬 (株)	カナグル
第一三共 (株)	ネキシウム	(株) ツムラ	
(株) ジェイ・エム・エス			

(ABC 順)

編集委員会

編集委員長：伊豫田 明
 編集委員：赤羽 悟美 弘世 貴久 池田 隆徳
 石井 良和 片桐 由起子 近藤 元就
 三上 哲夫 水野 雅文 中野 裕康
 佐藤 二美 島田 英昭 和田 弘太
 編集顧問：杉山 篤 津熊 久幸

(ABC 順)

編集後記

5月というのに28度という暑さの中この編集後記を書いています。この4月より、杉山篤先生の後任として編集委員長を仰せつかった後、最初の東邦医学会雑誌の発刊ということになります。私が就任してから大きな変化がありました。これまで長い間、東邦医学会雑誌の編集全般を担い支えて頂いた高口さんが退職となり、それにともなって、6月からは東邦医学会雑誌、Toho Journal of Medicineともにオンライン投稿査読システム (ScholarOne Manuscripts) となります。皆様におかれましては、慣れない点多々あるかとは思いますが、ご理解の程、よろしくお願いいたします。

今回は、従来の投稿・査読システムによって作成された最後の号でしたが、高口さんが退職前にしっかりと仕上げてくれたおかげで、無事に東邦医学会雑誌第64巻2号(2017年6月号)およびToho Journal of Medicine Vol.3 No.2 (June 2017)を発行することができました。今回の東邦医学会雑誌は総説1編、報告1編、CPC症例1編、東邦医学会抄録、学位関係、連載(巻頭言、学会参加記、教室紹介、論評)との構成となっています。総説は、肺癌に対する免疫チェックポイント阻害剤という最新のトピックを取り上げて頂きました。他の分野の先生方にも大いに興味のある話題であると思います。

前回の編集後記では「私が編集後記を書いてから約2年経ち、2年前には考えもつかなかった英文誌化になるなど、

大きな進化を遂げた」と書きましたが、今回は前回の編集後記執筆時には全く想像だにしていなかった編集委員長就任というさらに考えられないような私自身の大きな変化がありました。今後、東邦医学会雑誌、Toho Journal of Medicineをより充実させ、特にToho Journal of MedicineについてはPubMed収載に向けて準備を進め、将来的なImpact Factor獲得に向けての基盤づくりを行っていきたいと考えています。皆様にはご迷惑を多々おかけすることになると思いますが、東邦医学会雑誌とToho Journal of Medicineの発展のために、引き続きご指導、ご鞭撻頂けますようよろしくお願いいたします。

(伊豫田明)

東邦医学会雑誌 第64巻 第2号

平成29年6月1日発行

編集兼 伊豫田 明
発行人〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号
東邦大学医学メディアセンター内

東邦大学医学会

(振替口座 00190-6-95793)

tel. 03-3762-4151 ex. 2465/fax. 03-3762-5077

e-mail: igakukai@med.toho-u.ac.jp

http://tms.med.toho-u.ac.jp

東京都北区西ヶ原3-46-10

株式会社 杏林舎